



2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年2月9日

上場会社名 株式会社スマサポ 上場取引所 東
 コード番号 9342 URL <http://www.sumasapo.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役（氏名）小田 慎三
 問合せ先責任者（役職名）専務取締役経営企画本部長（氏名）藤井 裕介（TEL）050(1741)1119
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年9月期第1四半期の業績（2022年10月1日～2022年12月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	442	—	△17	—	△29	—	△21	—
2022年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	△9.87	—
2022年9月期第1四半期	—	—

- （注）1. 当社は、2022年9月期第1四半期において四半期財務諸表を作成していないため、2022年9月期第1四半期の実績並びに2022年9月期第1四半期及び2023年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 2023年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	630	429	68.0
2022年9月期	563	340	60.5

（参考）自己資本 2023年9月期第1四半期 429百万円 2022年9月期 340百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,221	20.6	33	47.7	24	11.5	18	△5.5	8.24
通期	2,906	42.4	190	148.2	185	137.4	140	90.2	60.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年9月期1Q	2,361,700株	2022年9月期	2,211,700株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年9月期1Q	一株	2022年9月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年9月期1Q	2,216,591株	2022年9月期1Q	一株
------------	------------	------------	----

(注) 当社は、2022年9月期第1四半期において、四半期財務諸表を作成していないため、2022年9月期第1四半期の期中平均株式数については、記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、当社は前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染対策による行動制限の大幅な緩和により、消費活動は回復の兆しがみられました。その一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、急激な円安の進行、資源価格や原材料価格の高騰によるインフレ圧力等国内景気の先行きや企業収益に与える影響については依然として不透明な状況が続いております。

当社が主にサービスを提供する不動産管理業界におきましては、オフィス市況は軟調な状態が続く一方、賃貸住宅の賃料水準にはほぼ影響も見られず、堅調に推移しております。既存物件は入居者のライフスタイルの多様化やテレワークの定着等により、引き続き堅調に推移すると見込んでおります。

このような状況の下、当社の主力サービスである「スマサポサンキューコール」及び入居者アプリ「totono」の需要は高く推移しており、受注拡大に向け注力いたしました。

また、当社は不動産管理業界へのソリューション提供企業としてのサービスモデルの特性が評価され、2022年12月29日には東京証券取引所グロース市場への上場を実現いたしました。資金調達と信用調達により、今後一層の事業推進を行ってまいります。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、主力サービスが堅調に推移したことで、売上高は442,338千円となりました。一方、利益面につきましては、DX推進に向けた入居者アプリの開発に対する先行投資を積極的に行ったことにより、営業損失は17,213千円となりました。また、上場関連費用を12,560千円計上したことにより、経常損失は29,352千円、四半期純損失は21,885千円となりました。

なお、当社は不動産管理会社向けソリューション提供事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ67,346千円増加し、630,705千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ43,866千円増加し、440,126千円となりました。これは主に、売掛金が29,779千円減少した一方で、現金及び預金が27,199千円、その他が48,519千円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べ23,479千円増加し、190,578千円となりました。これは主に、ソフトウェアが13,155千円増加したこと等によります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ21,168千円減少し、201,604千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ20,847千円減少し、195,913千円となりました。これは主に、その他が8,569千円増加した一方で、未払法人税等が18,311千円、賞与引当金が9,118千円減少したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べ321千円減少し、5,691千円となりました。これは主に、保証履行引当金が255千円減少したこと等によります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ88,514千円増加し、429,101千円となりました。これは、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う公募増資の実施により資本金及び資本剰余金がそれぞれ55,200千円増加したこと、四半期純損失の計上により、利益剰余金が21,885千円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の業績予想につきましては、2022年12月29日に公表いたしました「2022年9月期決算短信」の内容に変更はございません。なお、当該業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	303,405	330,605
売掛金	64,351	34,572
商品	4,888	3,942
その他	26,949	75,469
貸倒引当金	△3,335	△4,462
流動資産合計	396,260	440,126
固定資産		
有形固定資産	9,341	8,617
無形固定資産		
ソフトウェア	103,150	116,305
その他	21,172	24,765
無形固定資産合計	124,322	141,071
投資その他の資産	33,435	40,889
固定資産合計	167,099	190,578
資産合計	563,359	630,705
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,867	42,322
未払法人税等	19,035	724
契約負債	62,210	58,767
賞与引当金	20,976	11,858
その他	73,671	82,240
流動負債合計	216,760	195,913
固定負債		
保証履行引当金	3,904	3,649
資産除去債務	1,700	1,700
その他	407	341
固定負債合計	6,012	5,691
負債合計	222,773	201,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	142,499	197,699
資本剰余金	132,499	187,699
利益剰余金	65,586	43,701
株主資本合計	340,586	429,101
純資産合計	340,586	429,101
負債純資産合計	563,359	630,705

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	442,338
売上原価	280,581
売上総利益	161,757
販売費及び一般管理費	178,970
営業損失(△)	△17,213
営業外収益	
受取手数料	100
補助金収入	250
その他	78
営業外収益合計	428
営業外費用	
支払利息	6
上場関連費用	12,560
その他	0
営業外費用合計	12,567
経常損失(△)	△29,352
税引前四半期純損失(△)	△29,352
法人税等	△7,467
四半期純損失(△)	△21,885

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年12月29日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。この上場にあたり、2022年12月28日を払込期日とする公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行150,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ55,200千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において資本金が197,699千円、資本剰余金が187,699千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。